

国際交流講演会

Countering the Violence: Anchoresses, Female Spirituality and the Literary Culture of the Welsh-English Borderlands in the Middle Ages

「15世紀イングランドの神秘的霊性と言説空間—BL, MS Egerton 2006
Amherst MSを中心に」 科研費基盤研究(C)
(代表 久木田直江 明治大学研究知財戦略機構)

【講演概要】 本講演では、中世イングランドとウェールズとの境界地方（国境）に生き、隠修生活を行った女性たち(anchoresses)に焦点を当て、隠修女の霊性が境界地域で著作され、流通した書物に及ぼした影響を及ぼしたか検討する。

キリスト教会の改革が推進された12世紀末より霊的刷新を求めて女性たちが行った「隠修」という信仰生活は大陸（主に低地地方やフランドル地方）から広がり、13世紀にはウェールズ・イングランド境界地方にも及んだ。女性たちは教会（礼拝堂）に隣接する庵室で暮らし、神への祈りと讃美に生涯を捧げるなか、時に地域の人々の助言者となり、また書物文化の担い手ともなった。本講演では、この時代に流通した書物が、当時、同地域で展開していた非道且つ攻撃的な軍事行動に異議を唱え、さらに、「処罰と暴力」に代わり、「憐み」や「共感」と云った感情（中世キリスト教世界で隠修女や修道女がキリストへの崇敬によって育んできた感情）こそが人間性の回復に寄与すると云う言説に支えられていたことを、Annora de BriouzeとLoretta de Briouz 姉妹、Katharine de Audeley, Ancrene Wisse, Pearl/Gawain, St Winifred/Gwenfrewy, Fouke le FitzWarynに関する一次資料から読み解く。

講師

Dr Liz Herbert McAvoy

Professor Emerita of Medieval
Literature, Swansea University

Honorary Senior Research
Associate, University of Bristol

2025年

4月 2日 (水)

15:00–17:00

明治大学駿河台キャンパス
リバティタワー11階 1115教室
使用言語: 英語(通訳なし)

主催 明治大学中世英文学テキスト研究所

お問合せ先 石黒太郎 (taro69@meiji.ac.jp)
久木田直江 (kukita.naoe@shizuoka.ac.jp)

申込不要
入場無料